

熱帯魚の飼い方 水槽の準備

ネオンテトラやグッピー。エンゼルフィッシュ。

色や形が美しい熱帯魚は、保温さえすれば手軽に飼えます。種類も多く、初心者でも楽しめます。

1 準備するもの

- 水槽
ガラス製が清潔感もありおすすめ。
魚の種類、匹数、魚の大きさに応じて、水槽の大きさを選びましょう。
- フタ
魚の飛び出し・水の蒸発防止
- 蛍光灯
美しい熱帯魚を楽しむために使しましょう。
水草を育てる効果もあります。
- ろ過フィルター
水中式、外掛式、上部式などがあり水をキレイにします。
- 水温計
魚にとって水温はとても重要。毎日確認しましょう。
- アクセサリー
水中世界を演出するには最適です。
- 砂利、水草
砂利にはろ過バクテリアがすみつきます。
水草は魚のすみかになり、酸素も供給します。
- エサ・カルキ抜き
粒エサ、フレークフードなど種類があります。
カルキ抜きは水道水の塩素を中和し無害化します。
- 保温ヒーター
熱帯魚飼育には保温器具が必要です。
水温を25℃～30℃にします。

2 さかなの選び方

- 元気に泳ぎ回っている
- 体にツヤがあり、ウロコなどに傷がない
- 目が輝いている
- ひれがピンと伸びていて、すれてない

3 飼育水の作り方

水道水を使用する場合、カルキ抜きを使って水道水中の塩素を中和します。

4 水槽の置き場所

小さく見える水槽でも水を入れると重たくなります。水平が保てる、しっかりとした台か専用の水槽台を使いましょう。

■置いてはいけない場所



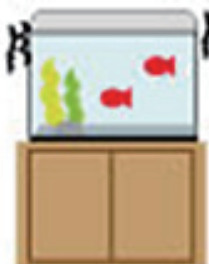
畳やじゅうたんの上



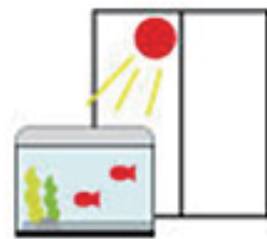
テレビの上



手作りの台の上



強度の低い家具などの上



直射日光が当たる場所



5 水槽の大きさとヒーターの容量

ヒーター容量 (W)	水そうの大きさ (cm)	水容量
50Wタイプ	小型水そう	約20リットル以下
75Wタイプ	小型水そう	約30リットル以下
100Wタイプ	45cm水そう以下	約35リットル以下
150Wタイプ	60cm水そう以下	約60リットル以下
200Wタイプ	75cm水そう以下	約120リットル以下
300Wタイプ	90cm水そう以下	約160リットル以下

※適合水槽の大きさは、周辺温度が10℃以上の環境の場合です。
10℃に満たない場合は希望水温にならない場合がありますので、注意してください。

